

5. 市町村廃置分合改称等の沿革

- 注：1 昭和25年1月以降について示す。
 2 人口の関係のない境界変更は省略した。
 3 施行年月日に（ ）のあるものは、現在の市町村が過去2回以上にわたって段階的に合併が行われたことを示す。

市町村名	施行年月日	沿革
岐阜市	昭和25. 8. 20	黒野村、方県村、茜部村、鶉村、市橋村、七郷村、西郷村を編入
	昭和25. 12. 10	岩村を編入
	昭和30. 2. 11	鏡島村、厚見村を編入
	(昭和31. 4. 1)	巖美村大字加野、岩井を編入(芥見村に)
	昭和33. 4. 1	日置江村、芥見村を編入
	昭和34. 4. 1	合渡村を編入
	昭和36. 4. 1	三輪村を編入(31. 4. 1春近村、山県村、巖美村(太郎丸、石原、福富)が合体)
	昭和38. 4. 1	網代村を編入
	昭和44. 2. 1	本巣町大字外山(字鹿穴、松ボキ、真渡、西高ボタ、礼見、明田、割田、塚田、若杉、野田、伊洞、本谷、東洞、猪洞前)との境界変更
昭和49. 4. 1	笠松町字桜町、羽衣町の一部との境界変更	
大垣市	昭和26. 4. 1	和合村を編入
	昭和27. 6. 1	三城村を編入
	昭和29. 10. 1	荒崎村(大字綾戸(垂井町を参照)を除く)を編入
	昭和34. 4. 1	赤坂町(池尻)の一部との境界変更
	昭和42. 9. 1	赤坂町を編入
	昭和53. 9. 1	養老町室原字中島の一部との境界変更
高山市	昭和30. 4. 1	大八賀村を編入
多治見市	昭和26. 3. 5	市之倉村を編入
	昭和26. 4. 1	笠原町を編入
	昭和27. 4. 1	一部の区域(笠原町の区域、滝呂地区を除く)が笠原村を分立
	昭和35. 4. 1	姫治村大字(大藪、大針、北小木、下切(字国京、白山))を編入
関市	昭和25. 8. 10	千疋村を編入
	昭和25. 10. 15	田原村を編入、市制を施行
	昭和26. 3. 20	下有知村を編入
	昭和29. 9. 10	富野村を編入
	昭和30. 1. 10	小金田村を編入
	昭和30. 7. 10	美濃市東志摩との境界変更
	昭和31. 9. 29	南武芸村広見の一部を編入
中津川市	昭和26. 4. 1	中津町、苗木町が合体、中津川町を設置
	昭和27. 4. 1	市制を施行
	昭和29. 7. 10	坂本村を編入
	昭和31. 9. 30	落合村を編入
	昭和32. 11. 1	阿木村を編入
	昭和33. 10. 15	長野県筑摩郡神坂村の一部編入
	昭和43. 4. 1	福岡町の一部との境界変更
美濃市	昭和29. 4. 1	美濃市、洲原村、下牧村、上牧村、中有知村、藍見村、大矢田村が合体、美濃市を設置
	昭和30. 7. 10	関市大字小野(字カシガ洞、西曾船、花之木、奥之田、神明洞、長洞、東曾船、長洞前、荒神洞、田之洞、西ヶ洞の一部)との境界変更
瑞浪市	(昭和26. 4. 1)	瑞浪町、土岐町が合体、瑞浪土岐町を設置
	昭和29. 4. 1	瑞浪土岐町、稲津村、釜戸村、大湫村、日吉村、明世村(大字山野内、月吉、戸狩)、陶町が合体、瑞浪市を設置
羽島市	昭和29. 4. 1	竹ヶ鼻町、足近村、小熊村、正木村、福寿村、江吉良村、堀津村、上中島村、下中島村、桑原村が合体、羽島市を設置
恵那市	(昭和25. 6. 1)	潮南村大字潮見字入野を編入(飯地村に)
	昭和29. 4. 1	大井町、長島町、東野村、三郷村、武並村、笠置村、中野方村、飯地村が合体、恵那市を設置
美濃加茂市	昭和29. 4. 1	太田町(25. 8. 10坂祝村大字深田を編入)、古井町、山之上村、蜂屋村、加茂野村、伊深村、下米田村、三和村大字甘屋川浦、和知村大字牧野が合体、美濃加茂市を設置
土岐市	(昭和29. 4. 1)	明世村大字河合を編入(泉町に)
	昭和30. 2. 1	土岐津町、妻木町、下石町、鶴里村、曾木村、駄知町、肥田村、泉町が合体、土岐市を設置

資料：自治省行政局「全国市町村要覧」、県市町村課

5. 市町村廃置分合改称等の沿革（続き）

市町村名	施行年月日	沿革
各務原市	昭和38. 4. 1	那加町、稲羽町（30.2.11更木村、前宮村、中屋村が合体）、鶴沼村（30.4.1鶴沼町、各務村が合体）、藤原町が合体、各務原市を設置
可児市	昭和30. 2. 1 昭和30. 4. 1 昭和35. 4. 1 昭和57. 4. 1	今渡町、土田村、帷子村、春里村、久々利村、平牧村、広見村が合体、可児町を設置 御嵩町大字中恵土との境界変更 姫治村（大字谷迫間、今、下切（字国京、白山（多治見市を参照）を除く））を編入市制を施行
川島町	昭和31.10. 1	町制を施行
岐南町	昭和31. 9. 26 昭和31.10. 1	八剣村、上羽栗村が合体、岐南町を設置 町制を施行
笠松町	昭和25. 8. 1 昭和30. 4. 1 昭和48. 4. 1 昭和49. 4. 1	松枝村を編入（笠松町に） 笠松町、下羽栗村が合体、笠松町を設置 柳津町大字深沼、河原、竹ノ裾、北沼、十三塚、一ヶ城、井ノ戸、石川の一部を編入 岐阜市の一部との境界変更
柳津町	昭和31. 9. 26 昭和48. 4. 1	佐波村を編入、柳津町を設置 笠松町大字門間（字川原、北沼、湯ノ戸、新田）の一部、大字田代字四反田の一部を編入
海津町	昭和30. 1. 15 昭和30. 2. 1 昭和41.12. 2	高須町、吉里村、東江村、大江村、西江村が合体、海津町を設置 今尾町字平原を編入 平田町大字脇野との境界変更
平田町	昭和30. 2. 1	海西村、今尾町（字平原（海津町を参照）を除く）が合体、平田町を設置
南濃町	(昭和29.11. 3) 昭和29.11. 5	池辺村のうち大字駒野新田、釜段字徳島を編入（城山町に） 城山町、石津村、下多度村が合体、南濃町を設置
養老町	昭和29.11. 3 昭和30. 4. 1 昭和53. 9. 1	高田町、養老村、広幡村、上多度村、笠郷村、小畑村、多芸村、日吉村、池辺村（大字駒野新田、釜段字徳島（南濃町を参照）を除く）、合原村（大字室原）が合体、養老町を設置 南濃町大字若宮船見、津屋（字段の尻、中原、柏ノ木、小名、大墳、浮島、中島、上戸樋、北河原）との境界変更 大垣市綾野字高畑の一部との境界変更
上石津町	昭和30. 1. 15 昭和44. 4. 1	牧田村、一之瀬村、多良村、時村が合体、上石津町を設置 町制を施行
垂井町	昭和29. 9. 10 昭和29.12. 1	垂井町、宮代村、表佐村、府中村、岩手村、荒崎村（大字綾戸）が合体、垂井町を設置 合原村（大字栗原）を編入
関ヶ原町	昭和29. 9. 1	関ヶ原町、今須村、玉村、岩手村（大字伊吹大高）が合体、関ヶ原町を設置
神戸町	昭和25. 4. 1 昭和29. 4. 1 昭和35. 4. 1	北平野村（大字横井、田、安次、丈六道）を編入 神戸町、下宮町、南平野村（大字西保、中沢、南方、加納、四成字、八条、和泉）が合体、神戸町を設置 大野町（大字西座倉）との境界変更
輪之内町	昭和29. 4. 1	福東村、仁木村、大藪町が合体、輪之内町を設置
安八町	昭和30. 4. 1 昭和35. 4. 1 昭和54.12. 1	名森村、結村、牧村が合体、安八町を設置 町制を施行 墨俣町大字下宿字流、字北沼、大字上宿字千丈夫、字貝割の一部との境界変更
墨俣町	昭和49. 1. 1 昭和54.12. 1	穂積町大字宝江字蛇池との境界変更 安八町西結字奥田の一部との境界変更
揖斐川町	昭和30. 4. 1 昭和31. 9. 30 昭和43. 9. 1 昭和56. 3. 1	揖斐町、大和村、北方村、清水村、小島村が合体、揖斐川町を設置 養基村大字脛永を編入 春日村大字六合字城ヶ谷東及び鹿虎の一部との境界変更 池田町粕ヶ原字五本松及び沓井字辻之内の一部との境界変更

5. 市町村廃置分合改称等の沿革（続き）

市町村名	施行年月日	沿 革
谷 汲 村	昭和31. 9. 1 昭和35. 1. 1	谷汲村、長瀬村が合体、谷汲村を設置 横蔵村を編入
大 野 町	昭和29. 4. 1 昭和31. 4. 1 昭和35. 1. 1	大野町、豊木村、富秋村、西郡村が合体、大野町を設置 鶯村を編入 川合村を編入
池 田 町	昭和25. 4. 1 昭和25. 8. 1 昭和29. 5. 1 昭和30. 4. 1 昭和31. 9. 30 昭和56. 3. 1	北平野村大字白鳥を編入（池田村に） 本郷村、池田村が合体、温知村を設置 池田村に改称、同時に町制を施行 池田町、宮地村、八幡村が合体 養基村（大字田中、粕ヶ原、沓井）を編入 揖斐川町脛永字永小作の一部との境界変更
藤 橋 村	昭和62. 4. 1	徳山村を編入
北 方 町	昭和30. 4. 1 昭和31. 9. 30	北方町、生津村（大字柱本、高屋）が合体、北方町を設置 席田村（大字芝原、加茂）を編入
本 巢 町	昭和25. 6. 1 昭和31. 9. 30 昭和35. 4. 1	文殊村、山添村が合体、本巢村を設置 本巢村、外山村が合体、本巢村を設置 町制を施行
穂 積 町	昭和29. 11. 3 昭和32. 7. 1	穂積町、本田村、牛牧村、生津村（大字馬場、生津）が合体、穂積町を設置 巢南村大字宝江との境界変更
巢 南 町	昭和29. 9. 20 昭和39. 4. 1	船木村、鷺田村、川崎村が合体、巢南村を設置 町制を施行
真 正 町	昭和30. 4. 1 昭和39. 4. 1	真桑村、弾正村が合体、真正村を設置 町制を施行
糸 貫 町	昭和30. 4. 1 昭和31. 9. 30 昭和35. 4. 1	土貴野村、一色村が合体、糸貫村を設置 席田村大字上保、郡府、北野、春近、石原、三橋、仏生寺を編入 町制を施行
高 富 町	昭和30. 4. 1	高富町、富岡村、梅原村、大桑村、桜尾村が合体、高富町を設置
伊 自 良 村	昭和30. 4. 1	下伊自良村、上伊自良村が合体、伊自良村を設置
美 山 町	昭和30. 4. 1 昭和39. 4. 1	西武芸村、富波村、北武芸村、谷合村、葛原村、北山村、乾村が合体、美山村を設置 町制を施行
武 芸 川 町	昭和31. 9. 29 昭和40. 4. 1	東武芸村、南武芸村（大字小知野、八幡、高野、跡部、広見字川向、上野々）が合体、武芸村を 設置 武芸川村と改称、同時に町制を施行
武 儀 町	昭和30. 4. 1 昭和30. 7. 10 昭和46. 4. 1	下之保村、中之保村、富之保村が合体、武儀村を設置 関市神野（字荏畑、土洞口、中戸洞口、井野木ヶ洞口、水ヶ洞口、井野上、曝上、風吹平、四ツ 水口、岩井戸）との境界変更 町制を施行
八 幡 町	昭和29. 12. 25 昭和32. 4. 1 昭和37. 4. 1	八幡町、川合村、相生村、口明方村、西和良村が合体、八幡町を設置 大和村有坂との境界変更 大和村島字下洞の一部との境界変更
大 和 町	昭和30. 3. 28 昭和60. 11. 1	山田村、弥富村、西川村が合体、大和村を設置 町制を施行
白 鳥 町	昭和31. 4. 1 昭和31. 10. 5 昭和33. 10. 15 昭和36. 4. 1	白鳥町、半道村、北濃村が合体、白鳥町を設置 大和村大字大間見（字七反田、向七反田、日枝洞）との境界変更 福井県大野郡石徹白村の一部を編入 大和村大字大間見字一谷の一部との境界変更

5. 市町村廃置分合改称等の沿革（続き）

市町村名	施行年月日	沿革
美並村	昭和29.11.1	嵩田村、下川村が合体、美並村を設置
明宝村	昭和45.4.20 平成4.4.1	奥明方村を明方村に改称 明方村を改称
坂祝町	昭和43.10.1	町制を施行
富加町	昭和29.7.1 昭和49.7.1	富田村、加治田村が合体、富加町を設置 町制を施行
川辺町	昭和29.4.1 昭和30.4.1 昭和31.9.30	三和村大字鹿塩を編入 川辺町、上米田村が合体、川辺町を設置 下麻生町大字下麻生を編入
七宗町	昭和30.2.11 昭和31.9.30 昭和46.4.1	上麻生村（28.5.1久田見村大字川並編入）、神淵村が合体、七宗村を設置 下麻生町大字中麻生を編入 町制を施行
八百津町	昭和30.1.31 昭和30.2.1 昭和30.3.25 昭和31.9.30	和知村を編入 八百津町、錦津村が合体、八百津町を設置 美濃加茂市（字東宮前、東中国、道下）との境界変更 潮南村、福地村、久田見村を編入
白川町	昭和28.4.1 昭和29.4.1 昭和31.9.30	町制を施行 坂ノ東村を編入 白川町、蘇原町、佐見村、黒川村が合体、白川町を設置
御嵩町	昭和30.2.1 昭和32.4.1	御嵩町、上之郷村、中町、伏見町が合体、御嵩町を設置 土岐市泉町定林寺字次月との境界変更
笠原町	昭和27.4.1 昭和27.8.1	多治見市笠原町（滝呂地区を除く）が分立し、笠原村を設置 町制を施行
福岡町	昭和41.4.1 昭和43.4.1	町制を施行 中津川市向並松との境界変更
岩村町	昭和29.9.10	岩村町、本郷村が合体、岩村町を設置
山岡町	昭和30.3.1	遠山村、鶴岡村が合体、山岡町を設置
明智町	昭和29.7.1 昭和30.4.1 昭和30.10.5	明知町、静波村が合体、明智町を設置 三濃村大字横通を編入 吉田村を編入
上矢作町	昭和31.9.30	上村、下原田村が合体、上矢作町を設置
萩原町	昭和31.8.25	萩原町、川西村、山之口村が合体、萩原町を設置
下呂町	昭和30.4.1	下呂町、竹原村、上原村、中原村が合体、下呂町を設置
金山町	昭和30.3.1 昭和30.4.1	金山町、菅田町、下原町、東村が合体、金山町を設置 白川町大字白山（字上川牧、馬瀬尻、木馬尻、中神田、田戸洞、宮ノ前、中田島、筒井、堤口、上田島、長塚、水洞口、野畠、洞田、黒谷）との境界変更
久々野町	昭和29.4.1	町制を施行
古川町	昭和31.4.1	古川町、小鷹利村、細江村が合体、古川町を設置
国府町	昭和39.11.3	町制を施行
宮川村	昭和31.9.30	坂上村、坂下村が合体、宮川村を設置
神岡町	昭和25.6.10	船津町、阿曾布村、袖川村が合体、神岡町を設置